

**FD共催**（教職員対象）

東北大学大学院歯学研究科  
インターフェイス口腔健康科学  
第119回学術フォーラム

*Forum for Interface Oral Health Science*

米国における歯科臨床教育  
およびPhD(博士)教育について

北郷 明成 先生



UCLA医学部

外科 形成外科・再建外科

Adjunct Assistant Professor/Research Director

2019年11月14日(木) 17:30～18:30

歯学部臨床研究棟(C棟)1階大会議室

2013年の閣議決定のもと、日本人海外留学生数の倍増を目標とした官民の取り組みによって日本人の海外留学生は増えてきました。しかし、何故海外に行かないといけないのでしょうか？どんな魅力があるのでしょうか？一方、日本人の博士(PhD)課程進学者は減少傾向にあります。PhD取得後の進路に困難を抱える者が多いことが一因と言われていますが、PhD取得の意味とは何なののでしょうか？

本セミナーでは、米国で12年間基礎研究を行う傍ら、米国の歯科医学、レジデント、およびPhD教育に関する調査を行うことで垣間見てきた実態を紹介し、歯科臨床においてEBD(Evidence-based dentistry)の重要性が謳われる中、今後の日本の歯科およびPhD教育に何が必要か？グローバル化とは？などについて、皆さんとディスカッションしたいと思います。

連絡先: 第119回モデレーター 江草 宏 (歯学イノベーションリエゾンセンター)